



私たちは 水を生かし
緑を広げ 安全に努め
心を育て 助け合います

(ホームページURL)
http://www.city.ogakijg.jp/

花の香りに誘われて



さわやかな風が吹き抜けるゴールデンウィーク中に、花に親しむイベントが市内各地で行われます。

恒例となった「花と緑のふれあい展」では、大人から子どもまで楽しめる多彩な催しが盛りだくさん。また、花の名所：四季の里として整備された赤坂スポーツ公園や浅中公園では、フジやツツジが見ごろを迎え、来場者を楽しませます。

入場はいつでも無料です。ご家族お揃いでお出かけください。

赤坂東藤まつり

- *とき/5月3日(月・祝) 午前10時~午後3時(小雨決行)
- *ところ/赤坂スポーツ公園(草道島町)
- *内容/飲食ブースやチャリティバザーなど
詳しくは、赤坂東藤まつり実行委員会の増田さん(☎71-2000)へ。

浅中ツツジまつり

- *とき/5月3日(月・祝) 午前10時~午後3時(小雨決行)
- *ところ/浅中公園総合グラウンド(浅中2)
- *内容/ツツジの展示・紹介、クラフト教室、苗木の無料配布(11:00~、14:00~)など
詳しくは、浅中ツツジまつり実行委員事務局(都市施設課内、東庁舎3階 内線678)へ。

<ツツジの育成ボランティア募集!>

市は、ツツジの育成ボランティアを募集し、上記ツツジまつり会場内で、午前10時から講習会を行います。ツツジの苗木2本をお渡ししますので、ご家庭で育てていただき、そのうち1本を公園緑地などへ植栽していただけます。参加無料で、定員は30人(先着順)。ハサミ、軍手などはご持参ください。申し込みは、4月15日から電話で都市施設課(内線678)へ。

花と緑のふれあい展

- *とき/4月29日(木・祝) 午前10時~午後4時(小雨決行) ※28日はプレオープンとして午後1時~4時まで展示コーナーのみ開設
- *ところ/大垣公園・大垣城ホールロビー
- *内容/フラワーアレンジ・ガーデニング講習会、クラフト教室、苗木・カプトムシの幼虫の無料配布、花のオークション、花と緑をテーマにした絵画展、緑のクイズラリー、かいみしづ温泉「湯葉の湯」足湯体験など



昨年の様子

詳しくは、花と緑のふれあい展実行委員会事務局(都市施設課内、東庁舎3階 内線678)へ。

私は、次世代を担う子どもたちの育成は、大変重要な政策課題としてとらえています。今度も、「子育て日本のまち」の実現を目指し、市民の皆さんとともに歩んでまいりますので、ご協力をお願いします。



保育園児と触れ合う小川市長

子ども手当制度が始まりました



今年度、従来の児童手当制度に代わり、新たに子ども手当制度が創設されました。

子ども手当の主な内容は次のとおりです。

- ▷受給対象/中学校修了までの子(0歳から15歳)を養育している人
- ▷支給額/13,000円(月額)
- ▷所得制限/なし
- ▷支払月/6月、10月、2月(支払月の前月分まで)
- ▷その他/市への寄附も可

次の要件に該当する人は、お早めに子育て支援課、各地域事務所、各サービスセンター、上石津地域の各支所で、それぞれの手続きをお願いします。公務員の方は、勤務先で手続きを行ってください。

- ①児童手当を受給していた人で、中学1年生までの子を養育している人
⇒新たな手続きは必要ありません。
 - ②上記①に該当する人のうち、中学2・3年生の子も養育している人
⇒額変更の手続きが必要です。額改定認定請求書を4月末に郵送しますので、必要事項を記入して提出してください。
 - ③所得制限により児童手当を受給できなかった人または中学2・3年生の子を養育している人
⇒申請の手続きが必要です。認定請求書を4月末に郵送しますので、必要事項を記入して提出してください。
- なお、上記②または③に該当する人が、4月分から子ども手当を受給するためには、9月30日までに手続きする必要があります。詳しくは、子育て支援課(内線492・493)でお尋ねください。



市長の
おなごきメール

子育て支援の充実

「子育て日本」を目指して

大垣市長 小川 敏

この3月の市議会で、県内初となる子育て支援条例の制定と「子育て日本」を目指すためのさまざまな事業予算が可決されました。「子育て日本」の「まち」にするためには、行政と市民の皆さんが協働し、社会全体で子どもの育成と子育てを支援することが大切です。子育て支援条例では、市民一人ひとりが、子どもの幸せを第一に考え行動し、子どもと子育てを家庭で、地域や学校、職場などの社会全体で支えることを基本理念としています。

市は、こうした理念を実現するためのさまざまな事業を盛り込んだ子育て支援計画を策定し、この4月から実施しています。

乳幼児医療費支給事業では、助成対象を拡大し、中学卒業までの入院・通院の医療費を無料化しました。保育園保育料も、国の基準に対し25%引き下げていたが、今年度は28・6%、さらに平成24年度には、35%まで引き下げる予定です。

また、「子育て支援の拠点施設」として、「子育て総合支援センター」を設置し、子育てに関する相談や情報発信、人材育成に努めます。このほかにも、障害児放課後等支援事業、子宮頸がん予防接種補助事業、学校地域人材バンク事業など、子どもたちのために各種事業を展開していきます。